



2015年(平成27年)7月度 理事会 議事録

【日時】2015年7月25日(土) 9:30開始 - 12:15終了

【場所】JSPE 溜池事務所 および スカイプ

【出席者】11名 (うちスカイプ 計8名 ●印)

(理事) ●川村、●西川、●阪井、森山、鈴木、横山、●柴山、●小口、●峯松

(監事) ●竹政、植村

【欠席者】渋谷、山浦、森口、村瀬、寺田、(オブザーバ) 橋口

【審議事項】

- 議事進行者、書記、議事確認者を議長より指名 書記:鈴木 承認者:川村、西川、森山
- 前回までの理事会からの宿題事項確認 特になし
- 入退会承認 (会員) …… 資料 01 Member Due Checklist for Board Meeting

【新入会員】	【退会者】
-	PE-0126 櫻井康久 様 FE-0193 立岩 丈幸 様
【資格変更】	【資格喪失】
PE-0241 岡島 聡 様(←PEN-0093) PE-0242 中野 誠 様(←PEN-0099) PE-0243 稲葉 光晃 様(←PEN-0121) PE-0244 市村 欣也 様(←PEN-0123)	PE-0021 坂井 元彦 様 PE-0051 佐藤 壽穂 様 PE-0073 吉田 浩士 様 PE-0147 田中 克治 様 PE-0209 保谷 大輔 様 PEN-0045 佐藤 崇 様 PEN-0070 高田 俊明 様 PEN-0072 佐久間 卓 様 PEN-0088 佐野 元治 様 FE-0071 野口 新 様 FE-0139 柏倉 隆行 様 FE-0174 福元 英樹 様 FE-0207 平形 直人 様 FE-0231 宮林 哲司 様 FE-0265 藤川 雅之 様 FE-0316 工内 一郎 様 FE-0354 安井 克典 様 AF-0026 竹村 和浩 様 AF-0048 岡本 尽 様 AF-0053 岩藤 善任 様 AF-0055 西青木 光則 様 AF-0057 河室 淳 様 AF-0058 齋藤 方子 様 AF-0064 陳 浩 様 ST-0007 大越 雄太 様
【資格回復】	
-	
【その他】	
-	
【会員数】	
5月度理事会後 PE 175名 準PE 70名 FE 109名 AF 28名 ST 4名 合計 386名 7月度理事会後 PE173名 準PE62名 FE 100名 AF21名 ST3名 合計 359名	

※ この表は以下の理事会確認事項を踏まえて7月31日時点で集計したもの



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

- ・ 2年以上会費を滞納し、7月末時点で連絡が付かない方については資格喪失扱いとし、サービス停止のメール通知をその方に対して行う
- ・ 会費支払いの意思はあるが海外滞在等の理由で現時点での振込み不可能な方については、帰国後の支払いを確約する念書を提出頂くことで会員資格を付与/継続することとする。

4. 今年度活動の具体化（会長）

総会で承認された今年度活動方針および15周年記念事業を具体化、役割分担するため、出席各役員の意向を聴取した。

- （鈴木） JABEEとの協議、それを踏まえた各大学へのPE制度説明会を展開したい。各大学への説明会はJPECとも歩調を合わせていきたい
- （西川） PEハンドブックの改定検討とそれも踏まえたJSPE活動の広報を行っていききたい
- （柴山） 会員数のトレンドを見るに、これからFE試験を受けようとする若手へのJSPE活動の広報が必要と思うので、その方向性を出していきたい。”PE”で検索するとJSPEサイトが上位ヒットするようになっているが、更に”エンジニアリング”で検索してもヒットするようになりたい。
- （横山） 各大学へのPE制度説明会を展開し、若い人にPEの良さを伝えたい。
- （峯松） 福島在住なので近場の仙台などにJSPE活動を宣伝していきたい。個人的には東北工大に人脈があり、東北大等へのアプローチも可能。（これに対し、小口理事より昨年実施した大学アンケートで東北大から反応があったことが付言される）
- （阪井） PEハンドブックの改定検討に取り組みたい。また、各方面へJSPE活動をアピールする際、現状のコピーチラシだけでは少し貧相な印象を与えるので、PEハンドブックや事業報告書の内容なども盛り込んだ見栄えのする“JSPE紹介パンフレット”も企画してみようか。。。
- （森山） PEハンドブックの改定検討とともに、JSPE活動を日刊工業などのメディアに広告を出すことを検討したい。勤務先の関係でメディアには人脈がある。
- （小口） シラバス評価支援を担当しており、昨年受験参考書の一覧もまとめたので、その延長で最新のPE/FE受験参考書解説をやってよい。（これに対し、他役員数名からも解説作業参加希望表明。なお、1分野あたり4万円近く要することから、まずは7分野に限定されるFE試験参考書から取り組むのがよいという意見が大勢となった。）
- （植村） JSPE活動のメディアへの露出については、まずは記事売り込んで無料掲載してもらうことを目指すべきで、有料広告掲載の検討はその後であろう。また各理事の活動には役員でない会員も積極的に巻き込むのがよい。
- （竹政） 近年メディアでは国際化教育がさかんにうたわれるにも関わらず、FE受験者がむしろ減少傾向にあるのはなぜかを考えると、一つには文科省の政策が実業の観点からずれているのではないかと感じる。しかし北大の新渡戸イニシャチブなど実をあげている活動もあり、それらでは実務者がバイリンガルであることを活かしているように感じる。JSPEは正にバイリンガルな人材の宝庫であるのだから、この点をもっとアピールするようにされたい。
- （会長） 各役員の意向は確認できたので、今後部会間の連携も自由に行いながら、今年度活動を具体化お願いします。

5. 理事会内運営ルールの整理について（会長）・・・資料02 JSPE Board Rule List 201507

過去3年間理事会内で蓄積してきた運営ルール文書類を、FTPサーバのフォルダ 01 Board Rules に集約整理したこと、それにともない細則も改訂したいとの申し出が会長よりなされた。

例えば、理事会内メーリングリストは JSPE13-021(2013年度) → JSPE14-018(2014年度) と年毎に違う番号文書に改訂され、整理参照が難しくなるのでこれを JSPE02-03(仮) というように作成年を文書番号に入れられない番号体系に改めたもの。

既存ルール類がどこに移動したのか、新しく作るルールはどこに保存するのかなどをFTP操作で確認した上で、了承された。（すぐにJSPEXX-XXと分類できない新ルール書類は、取敢えず従来の年毎



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

フォルダに作成しておき、部会判断で随時 JSPEXX-XX に移動する)

なお、教育部会関連の要領書類(セミナー開催要領、U-Stream 運用要領など)が未完成であるため、教育部会、企画部会にて文書として完成させていくこととした。

6. JSPE Magazine 編集委員の体制変更について (西川/柴山) …資料 03 Magazine_recruit

広報部会長交代にともない、過去数年固定されてきたマガジン編集委員(現 11 名)を見直し、編集委員の新規募集を行いたいとの申し出が広報部会からなされた。

編集委員の活動は PE 更新時の CPD ともなる(active participation in professional society)こともうたって募集にかかることが了承された。

7. 会員 DB システム改修および管理者整理の件 (柴山/森口)

会員が会員 DB 上で、住所、Eメール、資格情報等を更新した場合、従来はどの情報が更新されたのかが管理者(webmaster 登録役員)にはわからず、既存情報との突合せに多くの労力を費やしていた。このため、更新情報の区分も管理者に自動通知する DB 改修を実施したことが報告された(費用は約 5 万円)。

また、会員 DB の管理者(webmaster 登録役員)については、必要な役員に対して森口会員部会長より PW を付与する。従来、対象者は理事のみと考えていたが、監事も対象とする。

8. 州登録相談対応時の方針について (会長) … 資料 04 JSPE15-006 bassui

会員からどの州に登録すべきか?との相談を受けた場合の基本的な回答方針として、以下を討議・承認した。

PE 登録州選択についての JSPE ポリシー(案)

- (1) NCEES Model Law および Model Rule の登録要件に沿うことを原則とし、個別の州に登録すべきか否か等を評論することはしない
- (2) 会員/非会員が各州ボードに対し行う手続きについては、各州の審査ポリシーを尊重し、審査が円滑に進むよう可能な範囲の支援を行う
- (3) 各州ボードにおける日本人エンジニアの評判が高められるよう、会員/非会員への情報提供と助言に努める

ここでいう NCEES Model Law の要件とは例えば「経験記述は発展的であること。PE リファレンスは 3 名以上であること。」といったことである。登録が容易であるという理由である州を選定し登録できたとしても、業務上必要になり他州に Comity 申請する際に困難を生じる可能性があるため、JSPE としては、Model Law を満たす要件を持つ州への登録が望ましいと考える。

9. 世界工学会議京都への正式投稿可否(会長) … 資料 05 WECC Kyoto lecturers_201506

学会、産業界の有識者との交流には意義があると考えますが、渉外部会にて最終決定する。参加の場合は 2 名程度とし、費用対効果を最大にする方法を今後詰めていく。NSPE、NCEES は出席しないとみられるが、Grossmann 元 NSPE 会長が出席する見通しであるため、確認の上、同氏との会談を工学会議への参加とリンクして設定することも検討する。また JABEE には出席予定があるのか確認する。

10. JSPE Day プログラム案について (教育部会) … 資料 06 JSPE Day Program

9/26(土)の JSPE Day プログラムとして、午前に PE 試験合格/登録者の読み上げと NSPE 参加報告、午後に基調講演として FM Global 内藤氏の講演と会員講師 2-3 件を考えている。内藤氏から



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

は講義内諾を頂いている。講師希望者は現在1名(関東)であるため、関東1名、関西1名の会員講師を確保するよう、募集期間を延長し、場合により理事・監事や、知見を持っている会員に依頼することも検討する。

本イベントではPE受験・登録についてのプログラムは特に設けないので、秋から冬の時期にかけ関連イベントがない。会員ニーズに応えるため、メンター分会として鈴木理事から会員へ、必要に応じてサービスを提供する旨を通知し、会員から出張セミナーの要望があった場合には、近隣の大学への訪問等とセットにできないか検討する。

11. CPD セミナー、エンジニアズサロンアーカイブ(森山) … 資料 07 CPD-ES list、08 CPD-ES list supp1、09 CPD-ES list supp2

森山理事がトラックできる範囲でリスト化を行った。まずはリストを Web ページにアップし、講演資料については PDF ファイルをダウンロードできるようにすることを検討する。

【報告事項】 (報告希望事項と提議者・部会名を記載のこと)

1. NSPE シアトル総会報告(会長) … 資料 10 20150718 NSPEHOD_Remark_Kawamura
資料 11 2015 NSPE AMG Brochure

7月15日(水)–18日(土)シアトル市ルネッサンスホテルにて行われた NSPE 2015 年総会に JSPE から会長 川村と PEN 会員 西久保氏の2名が派遣され参加した。これとは別に PEN 会員 馬場氏も自主参加した。これについて以下のとおり速報がなされた。

- 1) NSPE 会員数が依然減少している(約 28000 人)ことのみならず、IT 関係を始め無数の資格や協会が増えていること、複数の州で PE 要求を減らしていく動きがあること、について危機感が明確に打ち出され、通常の CPD セミナーと並行して NSPE やエンジニアの価値を見直す(説教する?)セッションが数多く生まれ、JSPE 代表としても精神的に少しつらい会議であった。しかし2年前に就任したゴールデン事務局長とウイットリフ前会長のリードにより、NSPE としてやるべきことに正面から取り組んでいるということは十分理解できた。
- 2) 今年の特徴として会員を何とか増やしたい、仲間を増やしたいという NSPE 執行部の努力の結果、参加者が 700 名と少し増えたこと、および招待団体の中に ASME、IEEE といったこれまで顔を見せなかったメジャー技術協会が顔を見せたことであった。一方 B+30 が昨年白紙撤回されたことの影響か? 同施策を推進していた ASCE は顔を見せなかった。また韓国からの参加も今年は無かった。
- 3) ナティウク会長からは今年来日できなかったことのお詫びをお聴きするとともに、オースティン新会長からは来年の来日に前向きな応答を頂いた。しかし、来年の NSPE 総会は 6 月下旬(場所:テキサスダラス)と JSPE 総会との間隔が 2 週間しかないことが新たな課題となる可能性あり。
- 4) 今年の参加者が多かった一因として、1986 年スペースシャトルチャレンジャー号爆発墜落事故の原因となった固体ロケット開発部長(アラン・マクドナルド氏)自身による同事故の内幕紹介セッションがあったことが挙げられる。日本の技術倫理教科書に必ず現れるロジャー・ボイジョリ氏(2012 年死去)の直接の上司であった方の生々しい講義であり、スタンディングオベーションを呼んだ。「PE の存在価値は結局 Ethics に行きつく」ということを確認するとともに、Aerospace 分野でも PE を取り込む動きをすべきであるということをボーイング社の地元でもあるワシントン州ということも相まって感じた。



2. ウェブサイト関連(柴山) …資料 12 Website visitors trend

(資料 12 の抜粋) 今年に入って JSPE ウェブサイトの新規訪問者が増加傾向にある中、6 月のアクセス数の報告によると急増していることが分かる。また、今年に入って何回かイベント情報を Facebook に投稿しているが、昨年までの投稿に比べるとリーチ数が増加していることが分かる。反対に会員サイトはウェブサイトの改訂により内容が減ったことなどの影響もあり、会員サイトへのアクセス数およびページビュー数は減少している。

どちらも今年に入ってからのものであり今後の動向を観察するとともに、ウェブサイトおよび Facebook への宣伝活動に力を入れ、会員獲得に繋げていけることを期待したい。会員サイトは今年度さらにコンテンツを増やす検討および実施をしていく予定である

3. 英文化会パンフレット(森山) …資料 13 Pamphlet-Eng

7 月末までコメントを受付の上、最終版を発行する。

西川理事より、ホームページにアップした改定後の細則に記載の、学生会員、賛助会員についての記述内容変更を、パンフレットに反映するアクションを取る、とのコメントがあった。

4. 役所届出完了(横山) … 資料 14 Tokyo to teishutsu 20150723、
資料 15 Homukyoku teishutsu 20150723

7 月 23 日横山理事が法務局及び東京都へ出向き資料 14,15 の届出を完了した。法務局は受付案件が多く即日受理はされなかったが、7 月 31 日付けで受理された旨横山理事に電話連絡があった。

5. 千代田化工様向け PE 受験・登録セミナー

7 月 30 日(木) 実施予定。テキサス州では毎年の更新料が\$200 減額されるという情報があるので必要に応じ伝えるようにする。

【次回理事会予定】 2015 年 9 月 19 日(土)

【議事承認印】

承認	川村 武也	
承認	西川 理	
承認	森山 亮	
書記	鈴木 央	